

 理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院  
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広報誌

# よりそう

vol.32

令和  
4年 4/1 金 新築移転  
*Renewal Open*



建築階数 地上9階建 構造 鉄筋コンクリート 延床面 約33,000m<sup>2</sup>

## 1階

吹き抜けを持つウェルカムホールとホスピタルストリートは、患者様が院内での経路を迷ったり、不安感や肉体的な疲れを感じたり、診療の予約時間に遅れたりしないように、自分の現在地を把握しやすく、わかりやすいフロアになっています。



ウェルカムホール



開放感と明るさが融合した構造



流線型のカウンターを用い、受付から会計までをスムーズにご案内致します。



エントランスホール（奥にコンビニが入ります）



外来ブースへ続くホスピタルストリート



廊下やエレベーターは、病院スタッフと来院者との動線を分け、安全で機能的な配置にしています。



来院者の目線に合わせ、目的地へ自然に向かわせる間隔で配置したフロアマップ（各階に設置）

## 2階

部門間の迅速な連携を実現することで、開放的な待合になっていきます。エスカレーターを上がって、左側に直線上に外来を配置し、患者様が迷うことなく、お体に負担のないよう受診頂けます。

手前から、「歯科口腔外科」「眼科」「耳鼻咽喉科」「婦人科」と並び、奥には病気を早期に発見し、早期に治療することを目的とした、「予防医学センター」フロアを配置しました。健康診断や人間ドックを受診できます。

2階ホスピタルストリート



リハビリテーション室



エスカレーターを上がって、すぐ右手はリハビリテーション室です。

直線上に左側は外来を配置し、患者様が迷うことなく、お体に負担のないよう受診頂けます。

透析室



大きな窓からは自然光が入り、明るく広く開放的になりラックスできる空間になるよう配慮するとともに、スタッフの視線が行き届きやすい配置にしています。現15床から30床に増床しました。

会議室



化学療法室



医療講演など地域の皆様との交流の場です。

予防医学センター



予防医学サロン



## 3階

救急部と迅速に連携できる手術室やHCU、CAGを配置し、迅速な急性期医療を実現しました。ベッド、スタッフ動線であるスタッフストリートを設け、交錯しない安全で機能的な動線を確保しました。

手術室ホール



手術室



手術室ホール



日帰り手術センター



ハイブリッド室、バイオクリーン室も確保し、緊急手術や高度な手術にも対応可能で、術後にゆっくり休んで頂けるリカバリールームを備えた、日帰り手術センターが隣接した手術部です。

H C U



ご家族が、HCUエリアに入る事無くお見舞いする事が可能なように専用の廊下を設けました。

血管撮影室①



血管撮影室②



血管撮影室③



高圧酸素治療室



# 新病院引渡式が行われました

2年2ヶ月にわたって建設を進めていた新病院の引き渡し式が行われ、株式会社熊谷組 東北支店建築部 仙台徳洲会病院作業所 青柳 謙太郎様が、佐野 憲病院長に鍵の入ったケースを引き渡しました。

新病院は4月2日の開院に向け、外構工事や医療機器の搬入が本格化します。



## 毎号シリーズ記事

### 最新機器導入レポート 薬剤科

取り間違いなく、安全に。ピッキング業務が変わります！

処方箋の内容に基づく医薬品の取り揃え（ピッキング）業務を自動で行う自動薬剤ピッキング装置「Drug Station（ドラッグステーション）」を新規導入。払い出す薬品が目の前に出てくるため、その場で正確なピッキングが可能で、患者様にお薬をより早く正確にお届けする事が可能となります。



**Easy** 簡単に！



**Safety** ミスなく！



**Almighty** 幅広く！

高速で目の前に現われてくるトレイから薬品をピッキングするだけ。

トレイ搭載薬品に応じて、シャッターが必要部のみ開くから取り間違いの心配無し。

搭載薬品種はPTPシート／軟膏／点眼／漢方等、ピッキング可能な薬品が対象。

## Drug Station(ドラッグステーション)



## 注射薬自動払出システム



処方オーダーデータを元に自動で注射薬を払い出す「注射薬自動払出システム」です。払出だけでなく、薬品の補充も手間なく安全に行えます。



### Ampule

搭載薬品種はバイアル剤／アンプル剤／プラスチックアンプル／輸液ボトルなど、注射業務をフォローします。



### Four-split tray

患者さま毎に4分割トレイへ薬品を払出します。内側に配置した内トレイへは施用単位で納めていきます。注射袋や薬品ラベルは向きを揃えて出力します。



### Automation

トレイは排出時にカートに収納されます。払出完了すれば、そのまま病棟へ運べるので人の手を介して『仕分ける』必要もありません。



# 最新機器導入レポート

## 放射線科 CT編

新病院移転に伴い、様々な医療機器が一新され、放射線機器も大幅に新規導入致します。放射線科は「主に放射線を用いて検査を行う」部門で、皆さんに馴染みのあるものだと、健診の時などに撮影するX線写真や、CT、MRI、血管撮影、マンモグラフィー、核医学等、精密で高度な検査を行ってあります。

「放射線」と聞くと怖いイメージがありますが、その放射線を適正・適切にコントロールするのも私達の重要な仕事の一つです。また、マンモグラフィーの検査は常に女性技師が担当しますので、安心して検査して頂けます。より良い画像の作成と、苦痛の少ない検査を目指し、日々研鑽しています。

### 全身用X線CT診断装置 Aquilion ONE/PRISM Edition

#### 低被ばく・低侵襲で体にやさしいCT検査を

肺や心臓、大腸などの臓器の診断をする時に使用する事が多く、中でも体の最も大事な器官が集まっている胸部や内臓が入っている腹部では、隠れている病変を見つける事に力を発揮します。胸部CTで主に見つかる病気としては、肺がんや肺炎、肺気腫、肺結核、気管支拡張症などがあります。また心臓CTでは、心臓の弁や心膜、心筋、大動脈などの検査を行い、異変を見つける事ができます。腹部では、肝臓や腎臓などにできたがんや結石、胆囊炎や脾炎、大動脈瘤などの診断に使われます。脾臓や胆嚢などの内臓にできたがんは診断しづらいため、CTによる診断が大変有用です。

今回導入されるCT装置は、瞬時に細かく320断面（スライス）が同時に撮影でき、従来のものより撮影時間の大幅な短縮が可能で、低被ばく・低侵襲で安全面にも配慮された患者様の体にやさしいCT装置となってあります。最新の画像再構成技術により、低線量撮影時に発生するノイズを大幅に改善、従来に比べて1/4程度の被ばく量で撮影が実現します。胸部疾患や腹部臓器（肝・胆・脾・腎・膀胱・その他）疾患の検査に絶大な効果が得られ、最薄0.5mmスライスの高精度な画像は、検査後の治療計画から治癒まで幅広くお役立て頂けます。





# 兵どもが夢の跡 ～七北田ゴルフ練習場跡～



地域連携室 副主任

千葉 英二



仙台徳洲会病院が無事に開院を迎えたこの高玉町には、20年前、打ちっ放しのゴルフ練習場があった事はご存知ですか？私は20歳の時に1年半程アルバイトをしていました。同じ場所でまた働く事になろうとは不思議なものです。

当時の仕事は、まず朝8時から2時間、ひたすらゴルフボールを拾い、グラウンド整備で使う土をならすレーキに似せた手作りの道具で球をかき集め、手作りの駕籠でどじょうすくいのように2tトラックの荷台に放り込みます。今でも、1個ぐらいは土を掘ったら出てくるのではないかと想う。その後、トラック2台分を満杯にしたら、今度はボールを洗浄します。大事なのがヒビの入った球を取り除く事です。私は、洗浄機の中を覗き込みながら、醉拳を習得したが如く職人のようにヒビ球を取り除いていました。もし、ヒビ割れを見逃すとそのままボールの自動販売機に注入されてしまうので、クレームが受付のおばちゃんに寄せられます。そうすると、次の日の球拾い後の休憩時間に、おばちゃん特製の自腹高級豆で挽いた自慢コーヒーを入れてくれなくなるので必死でした。とくにショッキングだったのは、夜中に強盗が入った事です。交代で夜勤をするのですが、その日は携帯を買ったばかりの後輩が当番で、強盗に縛られて売上金をかっさらわれた後、どうにかして警察よりも先に私に電話をかけてきました。寝てた私は、携帯を使いたくてかけてきたのだろうと思い、「今、強盗に襲われました。」という後輩の悲痛な訴えに対し、「どうか、それは大変だ、宇宙防衛隊に頼みなさい。」と言って寝てしましました。あくる日出勤してびっくりしたのは言うまでもありません。警察の方に、「どうして話を聞いてあげなかつたのですか！」と怒られたのも今ではいい思い出です。その他にも、ボール一杯のトラックを洗浄場に移動させる時、スピードを出しすぎてボールを道路にぶちまけたり、風が止んだので下げていた防球ネットを機械で上昇させすぎて、ワイヤーをぶった切って半日営業停止にしてしまったり、自動草刈り機の操作を誤って、2mの深さの側溝に落としそうになって、草刈機を掴んだまま蚊の鳴くような声で助けを呼び続けたのもいい思い出です。その当時の写真が無いのが残念ですが、昨日の事のようによく覚えています。

従業員も個性的な人が多く、支配人が休みの日は球拾いを1時間で切り上げて、みんなで打席ではなく天然芝で打ちっ放ししたり、キヤッチボールをしていました。これからもいい思い出をこの同じ場所で作れる事を今から楽しみにしたいと思います。

**編後記**  
会議や打ち合わせは、何が一つでも方向性を決めて次につながる話し合いでなくては意味がありません。ただ時間を費やして報告会で終わってしまっては、参考書を買って勉強した気になるのと同じ事。完成までの期間、新病院プロジェクトに携わり、皆の前でプレゼンしたり、チームリーダーを務めたり、本来の業務では味わえない役目を担った職員達は、きっと成長できたのではないでしょうか。建物が新しくなっただけで終わるのではなく、自分自身も成長し変わるべき機会と転機を迎えたような気がします。

地域連携室／千葉 英二



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

現住所・電話番号 〒981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字駕籠沢15 TEL:022-372-1110(代表) FAX:022-372-1499

4月1日より  
新築移転先  
住所・電話番号

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8  
TEL:022-771-5111(代表) FAX:022-771-5100

2022年(令和4年)3月発行  
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌  
編集・発行：地域連携室  
発行責任者：院長 佐野 憲  
印 刷 所：モリタ印刷株式会社

HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>

●休診日につきましてはホームページでご確認ください、お問い合わせください。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキを使用しています。